

ぬかた園地で見られるあじさいリスト

系統	No.	品種・呼称	標準的な花色	見 頃				主な植栽場所	参 考
				6月		7月			
				中	下	上	中		
ガクアジサイ	1	アジサイ*	青色、淡紫紅色	●	●	●		管理道沿い	ガクアジサイの変種で大型の手まり咲き。葉は厚く、光沢があり無毛
	2	ガクアジサイ*	淡紫	●	●	●		管理道沿い	両性花、装飾花ともに青いガク咲きの花。葉は厚く、光沢があり無毛
	3	ジョウガサキ(城ヶ崎)	淡青			●	●	桐の広場	東伊豆、城ヶ崎付近で発見。八重のガク咲き
	4	スミダノハナビ(隅田の花火)	淡紫		●	●		けやき広場	八重のガク咲き。花火のような華やかさ
ヤマアジサイ	5	イズノハナ(伊豆の華)	濃青色	●	●	●		桐の広場	花は八重ガク咲き。東伊豆、城ヶ崎付近で発見
	6	エゾアジサイ*	澄んだ青色		●	●		案内所周辺	ヤマアジサイの変種で一重ガク咲き。葉は大きく、薄い。北海道、東北に自生する。
	7	クレナイヤマ(紅山)	淡紫紅色		●	●		けやき広場	長野県伊那の山で発見。咲き始めは白く次第に赤みを増し真紅になる。一重ガク咲き
	8	クロヒメ(黒姫)	青	●	●			桐の広場	クロの名の由来は濃紫の花色や枝の色から
	9	コウカンセツ(紅冠雪)	青		●	●	●	けやき広場	夏季に葉の上部が白くなり秋には紅葉する。一重ガク咲き
	10	シチダンカ(七段花)*	淡紫	●	●			桐の広場	ヤマアジサイの装飾花のガク片が倍以上になる八重咲き品種。野生種はなく鑑賞上珍重される栽培品。
	11	シノノメ(東雲)	青	●	●	●		案内所横	星型手まり咲き。花弁の重なり少なく細い。花弁がやや反り返る
	12	シラフジ(白富士)	紫・白		●	●		けやき広場	白花八重咲き。花の終わりに赤い斑点が入る
	13	ヒメアマチャ(姫甘茶)	淡紫		●	●		桐の広場	装飾花は丸く重なる。葉に甘味を持つ
	14	ベニガク*	白→紅→濃紅色		●	●	●	管理道沿い	初め白、次に淡紅、最後に紅色となつて一株上に咲分けをみることがある
	15	マイコ(舞妓)	淡青	●	●	●		けやき広場	小型の手まり咲き
	16	ミヤマヤエムラサキ(深山八重紫)	青		●	●		桐の広場	花は小型で八重ガク咲き
	17	モモイロヤマ(桃色山)	淡紫紅色	●	●	●		けやき広場	丸弁のガクが重なる。一重ガク咲き
	18	ヤマアジサイ*	淡紫	●	●	●		案内所周辺	花は一重ガク咲き。葉は薄く光沢が無く両面に短毛が密生する。ぬかた周辺にも自生
西洋アジサイ	19	アナベル	白			●	●	トンネル広場	北米原産で手まり咲き。貴婦人と呼ばれている大型の園芸種
	20	イン・マクラタ	白		●	●		どんぐり広場	一重手まり咲き
	21	ウズアジサイ	淡紫		●	●		桐の広場・どんぐり池横	アジサイ(ホンアジサイ)の変異種
	22	ザ・クリスマス	紫			●	●	どんぐり広場	軸の上部が黒っぽい
	23	センセーション	淡紫紅色			●	●	トンネル広場	手まり型。ガク片は細かい鋸歯状の切れ込みが入り、白色にピンクの縁取り
	24	フェアーテレサ	白～淡紫紅色			●	●	トンネル広場	柔らかな白の手まり咲き
	25	ブルースカイ	青～青紫		●	●		どんぐり広場	一重ガク咲き
	26	ブルーダイヤモンド	青～青紫		●	●		どんぐり広場	一重手まり咲き、鮮やかな青色
	27	マチルダ	淡青～淡紫			●	●	トンネル広場	一重手まり咲き
	28	ミセスクミコ	ピンク		●	●	●	トンネル広場	ピンク系一重手まり咲き
	29	ラ・マルネ	淡紫紅色		●	●		どんぐり広場	小型の一重手まり咲きの園芸種
	30	リベラバイス	淡紫		●	●		トンネル広場付近	一重ガク咲きの園芸種
	31	ロシタ	濃紅色			●	●	ロータリー段のカスケード横	一重手まり咲きの園芸種
その他	32	イワガラミ	白	●	●	●		案内所周辺	つる性。ガク片が一枚のみの装飾花(イワガラミ属)
	33	コアジサイ*	淡紫色	●	●	●		案内所裏1株のみ	装飾花がない。
	34	タマアジサイ*	装飾花は白、両性花は淡紫				●	案内所裏1株のみ	花序は苞葉に包まれ丸い。開花が普通のアジサイより1ヶ月ほど遅い
	35	ツルアジサイ*	白	●	●			正面石段右側	着生根がある。つる性
	36	ノリウツギ*	白				●	案内所周辺	全国に自生。花は白色で穂状

下線*19世紀に長崎に赴任したシーボルトが国外に持ち出したといわれるアジサイ

注) 花の色は土壌条件等によって変化します。見頃も気象条件によって前後することがあります。